

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に職員全員で復唱することで確認、共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、施設の掲示板や回覧板にホームの便りを掲示しています。地域のボランティアや保育園児も定期的に行事に参加しています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	当ホームが主体となり介護劇団を結成して地域の催しに参加したり、講演を行ったりしています。また実習生の受け入れも積極的に行っており、地域の方々からの認知症の相談も受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の代表、地域（議員、民生委員、自治会）の代表、行政関係者の方々に参加を頂いている。評価の結果報告や状況報告を行い、意見等を頂き日々のケアに活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政の研修会参加だけでなくスタッフとして協力し、日頃から互いに良好な関係を築いています。施設長、管理者共に地域の役員をしていることもあり、密に連絡を取り合っています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームは身体拘束宣言を行っており、コールマット、センサー等を活用するなどして安全面に配慮している。日中は玄関は施錠せず、また各居室から自由に戸外へ出られるような造りになって職員も身体拘束をしないことを理解しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝の申し送り時に利用者権利擁護指針（コンプライアンスルール）を職員で復唱することで虐待行為について確認を行っています。また入浴や更衣の際にあざなどがないか確認を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については以前利用されていた方もおられ、また現在利用されている方もご家族が検討されている為、ミーティング等通じて管理者より説明するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書・重要事項について説明を行い不安なく過ごして頂けるように努めています。退所時も段階を踏まえ話し合いを持ち、関係機関との連携を取り、責任を持って行先を決めるまでの援助を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事等に家族に参加してもらい、一緒に食事を摂りながら交流を図り、何でも言える関係を作れるように心掛けています。ご家族のアドバイスにて利用者毎に連絡帳を作り、職員と共有し、運営推進会議等に必要に応じて報告するなどしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月二回のスタッフミーティングや個別に意見を聴くなどして、コミュニケーションを取り、必要に応じて食事をしながらの対話の機会を設けるなどして、何でも言える雰囲気を作っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	小さな子供がいるスタッフが多く、急な勤務変更にも素早く対応したり、学校行事に併せたりのリフトづくりを行っています。資格取得に報奨金や退職金積み立ては全額雇用者負担で行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修希望者には出来るだけ参加できるようにシフト調整を行ったり、参加費の負担を行うなどしています。また、近隣の施設と連携して独自の研修会を行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会の参加を通じて、他のグループホームとの情報・意見交換を行うなどしてサービスの向上に努めています。近隣の施設と共同で専門家による研修会を開催するなどしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活状態を把握する為、利用前に必ず面会を実施し、本人との触れ合いを通じてより、スムーズに利用が出来るようにしています。必要に応じて、利用前に数回の面会を実施することもあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯、家族の苦労や今までのサービス利用状況などについて家族のみならず関係者の方と面談を行い、入所時の記録として要望等を記録として残すなど関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時の計画において、まず何が当面の支援として必要か、特に本人の希望に配慮しつつ、御家族の心身の負担軽減に留意して、端的に暫定プランを作成しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人・ご家族・職員は共に「明倫館家族」の一員として、時に職員の家族も行事等に参加するなどして垣根を意識せずに暮らす仲間づくりを実践するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間事業計画を年度初めに送付するなどして、遠方の御家族へも可能な限り、施設の行事に参加して頂く体制を整え、行事の際は出来る範囲で協力してもらっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の自治会に加入し、地域の行事（初午祭）を施設にお呼びすることで地域の皆さまがお越し頂いています。また花見も近くの公園を利用するなど馴染みの場所にお連れするなどしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士の関係性について情報を連携し、日頃から利用者との多くの会話をもち、楽しく過ごせるよう心掛けています。また利用者同士の関係が円滑になるような働きかけも行っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院により退所された方のお見舞いへ行ったり、再入所の希望においては配慮しています。亡くなられた時は、通夜や告別式に参列するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始前に本人、家族からどのように暮らしたいかを聴き、介護計画に活かしています。毎朝、ひとり一人の挨拶、触れ合いを通じて思いを伝えることの困難な方にも対応しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用される前、自宅等を訪問し、職員はそのことを通じ、本人、家族、担当ケアマネ等関係者から情報を得て、アセスメントシート等で確認するなどして把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のしたいこと、訴え等を受け止め、本人の意思を尊重し過ごして頂いています。出来る事などを見定め援助の方法などミーティング等で話し合い統一しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・医師等関係者の意見を反映したプラン作成は無論のこと、利用者の心身に変化が生じた場合、適宜関係者との話し合いを持ち共有して、現状に即した支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の些細な事、ことばなどもケース記録へ記入し、面会など家族が気付いたところも遠慮なく連絡帳へ記入して頂くなどして、職員間で逐次変化に対応共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が遠方におられる方、高齢者の方など個々の状況を配慮して、通院時の送迎、付き添い、入院中の洗濯など、必要に応じた援助を行うことで家族の心身の負担軽減を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年間行事等に地域の保育園児の定期的な参加のみならず、緊急時の連絡先に近隣の方を入れ、防災訓練に参加協力して頂き、安全に過ごして頂くよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅診療計画の契約を結んでおり、主治医による月二回の往診をしています。体調不良時は状況に応じて施設にて搬送したり、往診して頂くなど24時間対応して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、日勤帯は常時、情報や気づきを伝え、夜勤帯の急変、事故発生時は看護師に連絡して指示を仰ぐなどしています。また会議等を通じて看護に対する勉強会を行い互いの関りが出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	特に利用者の家族が遠方の場合には頻りに面会に行き、利用者が安心して入院できるようにしています。医師、関係者共に密に情報交換、相談に努めて退院後も経過を報告するなどしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所でできることを十分に説明し、本人や家族等の希望を一番に考えてチームで取り組んでいます。その際直接、主治医より、現在の症状や今後予測されることなど専門家より説明を頂いて、相互に理解が深められるようしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職員を配置していることを利点として、職員ミーティング等で研修会を実施しています。しかしながら実践力にはまだ不十分と考えています。		

鹿児島県 グループホーム明倫館 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	当ホームは各居室、ホールよりテラスに出られる構造になっています。その上スプリンクラーの設置もなされ、同敷地内のご家族、近隣の方にも非常通報にて連絡が取れるなど平常から協力体制を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出勤時、職員は利用者お一人ひとりに挨拶を行い、朝礼時、コンプライアンスルールを復唱することで確認を実施、言葉かけなどに留意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ポジティブプランは無論のこと、意思が上手く表現できない方においてはその方に自らが成り変わったらどうであろうかなど利用者様に近づいて希望を見いだせるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課すべてをを利用者様一人ひとりの希望に沿ったことは難しいですが、起床・食事・就寝時間は可能な限り、本人の希望に沿った支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	美容について、美容師さんに出張にて対応してもらい、パーマを希望にも対応しております。衣類の購入についても本人に選択して頂くこともあります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材、筍やつわの皮むきなど季節を楽しみながら行って頂き、その後の献立に提供したり、テーブル拭き等利用者様の出来る事に応じてお手伝いして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が以前作成したものを参考にしています。食事摂取量が少ない方には主治医と連携をとり高カロリー食の提供、水分については必要に応じゼリー食で補っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	このことは特に看護師が留意していることであり、義歯の方には毎日、義歯洗浄剤で消毒を行い、研修会においても口腔ケアの必要性の周知を図っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し、基本的にトイレにての排泄を心掛けています。必要に応じ、職員数名で介助することで利用者様の心身の負担軽減を図り、おむつ等の使用の軽減を図っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食時、牛乳やヤクルトを提供し、午前のおやつの際はバナナを差し上げるなど水分も十分に摂って頂くよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	お湯の好み、入浴の順序については意向を尊重しています。曜日・時間帯についても全ては困難なところもありますが、可能な限り、希望を尊重して行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の、ご希望に合わせて室温の調節を行ったり、就寝、起床時間も柔軟にしています。就寝前にココアなど温かい飲み物を提供するなどの支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の管理の基、処方等については説明書綴りにて確認が出来るようにしています。疑問など必要に応じて看護師に確認するなど連絡帳も活用しての対応の変化に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	つわやらつきょうの下ごしらえなど調理の手伝いや洗濯物を畳んで頂いたりしてもらっています。必要に応じて本人の意欲に合わせスタッフ共に会話を楽しみながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出は出来ないがテラスでの日光浴、お茶会等心掛けています。季節に合わせて、ご家族と協力しながら地域の行事に参加し、時に故郷訪問も行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の方をお世話させて頂いており、全ての預り金はホームで管理させて頂いています。欲しい物がある際は職員が同行して買い物を楽しんで頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	基本的に自由に、利用者様が電話されたい時は出来るように支援しています。また、本人、ご家族の気持ちを考えて、子機を使用することでプライバシーへの配慮を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・ホールには季節の花を飾り、掲示板にも季節感が感じられるようディスプレイを行っている。ホールの窓から鯉のぼりがみられる等季節感と開放感が同時に得られるような構造となっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールで隣の館と繋がっており、自由に行き来が出来るようになっています。椅子も一人用からソファまで必要に応じて利用できる配慮になっています。このことでそれぞれの居場所の確保がなされています。		

鹿児島県 グループホーム明倫館 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用されていた家具等を持ってきて頂き、本人の安らぎの場所作りを行っています。自室で見たい番組を見たり、外を眺めたりなどくつろいでおられます。</p>			
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室の入口には外部からの援助者にも理解できるように個々の身体状況の掲示がしてありまう。トイレの入り口に目印を設置、洗面台も握れる工夫がしてあるなどの配慮を行うなどして自立した生活の支援を行っています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム明倫館 2ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム明倫館 2ユニット

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない